

法政大調べの 兵庫の採点結果

上位項目

- ① 平均月総労働時間
138.5時間 10点
- ② 下水道普及率
91.1% 10点
- ③ 消費支出中の交際費率
8.1% 9点

※点数は10点満点。
データは2006～10年の統計

さまざまな指標を用いてはじき出す地域別の「幸福度」。日本でも大学やシンクタンクの調査が相次ぐが、その手法や結果は幅広い。兵庫県民の幸福度にしても、調査によって上位に輝いたり、下位に沈んだり。対照的な2つのランキングを見てみよう。(宮本万里子)

- ① 0～4歳児人口に対する保育所定員率
16.2% 1点
- ② 悩み・ストレスがある人の率
43.1% 2点
- ③ 一日に占める趣味・娯楽時間
149分 2点

下位項目

県民の幸福度 どう測る

法政大の坂本光司教授(地域経済学)が4年前にまとめた幸福度の都道府県ランキングは、厚生労働省や総務省の「客観的指標」が使われている。

「安全・安心」「医療・健康」の4部門に分け、「生活保護被保護人員比率」「完全失業率」「10万人当たりの交通事故発生件数」「10万人当たりの自殺死亡者数」など計40指標を抽出。都道府県、指標ごとに「幸福度の優劣」を10段階評価し、全指標の平均点を算出し、ランキング化した。

兵庫県の総合点は「5・03点」で45位。1位の福井県は「7・23点」

客観的指標ならワースト3

とは大きな差があった。指標別にみると、兵庫が唯一、10点満点で1位だったのは「平均月労働時間」で、全国最も短い138・5時間。一方、「悩みやストレスがある人の割合」は43・1%と全国で2番目の高かった。このランキングは関心を集め、選挙の立候補者が公約を訴える際にも多く引用されている。その後、民間シンクタンクの日

大阪など調べの幸福度順位

順位	都道府県
1	福井
2	山梨
3	石川
4	滋賀
5	長野
6	新潟
7	富山
8	岐阜
9	和歌山
10	山口
11	徳島
12	高知
13	香川
14	岡山
15	広島
16	鳥取
17	島根
18	大分
19	福岡
20	佐賀
21	熊本
22	鹿児島
23	沖縄
24	東京都
25	神奈川県
26	埼玉県
27	千葉県
28	茨城県
29	栃木県
30	群馬県
31	東京都
32	神奈川県
33	埼玉県
34	千葉県
35	茨城県
36	栃木県
37	群馬県
38	東京都
39	神奈川県
40	埼玉県
41	千葉県
42	茨城県
43	栃木県
44	群馬県
45	東京都
46	神奈川県
47	埼玉県
48	千葉県
49	茨城県
50	栃木県
51	群馬県
52	東京都
53	神奈川県
54	埼玉県
55	千葉県
56	茨城県
57	栃木県
58	群馬県
59	東京都
60	神奈川県
61	埼玉県
62	千葉県
63	茨城県
64	栃木県
65	群馬県
66	東京都
67	神奈川県
68	埼玉県
69	千葉県
70	茨城県
71	栃木県
72	群馬県
73	東京都
74	神奈川県
75	埼玉県
76	千葉県
77	茨城県
78	栃木県
79	群馬県
80	東京都
81	神奈川県
82	埼玉県
83	千葉県
84	茨城県
85	栃木県
86	群馬県
87	東京都
88	神奈川県
89	埼玉県
90	千葉県
91	茨城県
92	栃木県
93	群馬県
94	東京都
95	神奈川県
96	埼玉県
97	千葉県
98	茨城県
99	栃木県
100	群馬県

多様化する「幸せ」



横軸に都道府県民1人当たりの所得(2003～06年度の平均値)、縦軸に幸福度(同)を取り、関係を比較した図。経済的豊かさや幸福度は必ずしも比例していない。

幸福度で、兵庫県が全国47都道府県の1位に輝いた調査がある。当時、大阪大大学院教授の宮本万里子氏が、経済学研究所で実施した「行動経済学」が実施。2003～06年度の4年間にわたって、各都道府県と人口に対して均等に1万4086人にアンケートを行った。アンケートは「あなたは普段どの程度幸福を感じているか」と聞き、幸福度の高さを0～10点で答えてもらった。法政大などの調査と違うのは、客観的指標の分析ではなく、個人の意識としての主

県民の自己採点は1位

観的幸福度」を導いた。点兵庫県民自身は「幸福だ」と感じる割合は高い。一方、主観的に見た今回の調査は、所得と幸福度の相関関係はさほど見られず、都道府県間の格差は小さいことも判明した。調査の手法に異なる幸福度。簡井特教授は「これが正しい。間違いとは言えない。兵庫の場合、幸福度の順位は確かに全国で一番だが、順位だけを比べるのは、客観的な指標との違いはここにあるのかの分析が大切」と話す。

幸福度の都道府県ランキング本「日本ではいかに幸せな県民」をまとめた法政大学の坂本光司教授に「幸せを測る」との意義を聞いた。

「幸福度の本を出したのですね。」

「日本では、経済的豊かさが高まっているのに、国民自身が幸せだと感じていません。これだけいいのだから、幸せとは何か、大切

法政大・坂本光司教授



「県民幸福度ランキング」をまとめた法政大学の坂本光司教授＝大阪市西淀川区

データを議論のきっかけに

調査はどのように進められたのですか。

「客観的なデータを分析すれば、結果を誰にも『違う』とは言えないと考え、総務省や厚生労働省が出した指標を使って決めてみました。『幸せな指標』が何を指すのか、逆位、最下位の大阪の人から『全国転々として、大阪が一番住みやすい』と思ったの

に」と怒られたり。下から2番目の高知県など、結果を施策に反映につなげる県もありましたね。

「単に順位づけするだけではありませぬ。人が目指すべきは、人々が幸せと感じる地域とは何かをみんなで考え、そこに近づける。自然体や市民が、調査結果をそんなにきつかけずに生かしてほしいと願っています」



兵庫で、生きる